

令和元年度第1回たかまつ移住応援隊ミーティングの結果について

令和元年度第1回たかまつ移住応援隊ミーティングの開催結果は次のとおりでした。

- 日時： 令和元年8月29日（木）午後6時30分～8時30分
会場： 市民交流プラザIKODE瓦町 多目的スタジオ
（高松市常磐町1-3-1 瓦町FLAG8階）
参加者： 移住リーダー3人、移住サポーター14人・団体
テーマ： 「たかまつ移住応援隊の活動内容の拡充及び今後の移住施策の展開について」話し合いました。



<ミーティングの場が出された主な意見等>

「たかまつ移住応援隊の活動内容の拡充及び今後の移住施策の展開について」

- ・県が実施しているインターンシップセミナーのような、就職支援サービスを展開する大手企業の担当者からの話が聞けるような機会が提供できればいいと思う。
- ・転勤族の奥さんが集う会、単身移住者が集う交流会、男性限定の移住イベントなど、転勤族に注目したイベントの実施をしてもいいのでは。
- ・地理感覚が分かりづらい。高松市移住ナビにおいて改善できるとよい。
- ・住まないと実際に分からないこともある。お試し移住の実施についても検討すべきでは。
- ・移住体験ツアーの開催時期は、夏休みがいいのでは。休暇も取りやすいし、子どもも夏休み期間中であるから旅行と合わせて参加してもらえらる。
- ・民間事業者が運営している、女性口コミサイトがある。幼稚園・保育園など、転勤や引っ越しに便利な地域の口コミ情報などが得られる。移住ナビにリンクを貼ってもいいのでは。
- ・ふるさと納税は、高松市を知ってもらう1つのきっかけにもなり、関係人口の創出にも関わってくるので、もう少し積極的にPRしてもいいのでは。
- ・動画での物件紹介や、地域紹介などのコンテンツがあってもいいのでは。
- ・電車等での公共交通期間の情報や、それらによる市内の移動時間などを伝えていけるとよい。
- ・エリアにおける、特性（教育に強い、買い物がしやすい等）の情報が分かりやすくなるとよい。
- ・子育て世代については、幼稚園等に行くと仲間がしやすいが、子どもがいない世帯や夫婦だけだと仲間が作りづらいと思われる。

- ・移住希望者が、「移住後、どんなライフスタイルを送りたいのか」など、希望や不安を以前にヒアリングした上で、移住相談に入れると、よりよい関係性がつくれるのではないか。
- ・各エリアで、お世話やお節介をしてくれるキーパーソ的な人と連携した施策展開も効果的だと思う。
- ・市のイベントだけでなく、県の移住イベントや施策などについても、もっと情報を応援隊と共有してもらえると、いろんな提案ができると思う。
- ・移住体験ツアーについて。今はコースが1本化されているので、例えば海コースや山コースや子育てコースなど、細分化してあげるとより充実したものになるのではないか。